

目標Ⅲ だれもが心地よく安心して暮らせるまちをつくる

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況						26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計	指標			
Ⅲ だれもが心地よく安心して暮らせるまちをつくる	1市民の理解と協働の推進	(1)障がいについての理解と福祉教育の実践	34	①障がいのある人への理解と認識の啓発	障がい福祉課	障がい者週間の街頭啓発の際に、啓発チラシを配布し、市民への周知を図ります。	1,000	12月の障がい者週間の街頭啓発の際に、障がい者虐待防止に関する啓発チラシを配布しました。	啓発チラシを配布することにより市民に障がい者虐待防止についての理解と認識を深めることができました。	1,000	1,000	2,000	配布数	[3,000]	[3,000]	
			35	②障がいのある人への差別の禁止に関する制度整備の検討	障がい福祉課	障がい者地域自立支援協議会において、障害者差別解消法及び差別解消に向けての政府の基本方針に基づき市としての取り組みを検討します。	2	障がい者地域自立支援協議会において障がいのある人への人権侵害である虐待についての相談支援体制について協議しました。	今後は25年6月に制定された障害者差別解消法及び差別解消に向けての政府の基本方針に基づき、市としての取り組みを検討していきます。	2	2	4	回数	[6]	[6]	
			35	③学校での交流や体験学習の推進	こども家庭課	障がいについて理解し、共に生きる意識や接し方を身につけるため、小学校や特別支援学校と連携し、交流や体験学習等の取り組みを推進します。	34	保護者とともに小学校の支援学級や特別支援学校を訪問し、一日の生活の流れ等を学ぶように努めました。	訪問して学んできたことを職員で共有しあい、保育に生かすことができました。今後は該当する園だけでなく、学んできたことを全保育所(園)に還流する取組が必要です。	10	10	—	箇所数	34	34 35	H26.3.31で1園閉園により26年度目標値(箇所数)を34に変更
			35	③学校での交流や体験学習の推進	学校教育課	障がい者団体や住民自治協議会等と協働しながら、障がい者とともに活動する交流や体験学習等の取組を推進します。	35	障がい者とともに活動する交流や体験学習等を実施しました。	障がい者とともに活動する交流や体験学習等を通して、障がい者への理解を深めることができました。今後も、取組を続けていく必要があります。	33	29	—	箇所数	35	35	

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考	
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標
	1市民の理解と協働の推進	1市民の理解と協働の推進	35	④地域での福祉教育や交流・体験学習等の推進	障がい福祉課	障がい者地域自立支援協議会専門部会において、障がいのある人と地域住民との交流会を開催します。	200	障がい者地域自立支援協議会精神保健部会において当事者と民生委員との交流事業を開催しました。 平成25年10月30日 民生委員との交流会 121名参加 平成26年3月8日 地域フォーラム・交流会 137名参加	交流会や地域フォーラムでの意見交換会を通じて当事者と民生委員との交流を深めるとともに、精神障がいに対する理解を深めることができました。	258	191	449	延参加者数	[649]	[400]	
	(2)障がいのある人を支援する地域福祉活動の推進		35	①ボランティア等の養成と活動への支援	障がい福祉課	伊賀市社会事業協会に委託し、ボランティア養成講座を開催します。	320	市内の社会福祉法人に委託して心身障がい者ボランティア養成講座(全8回)を実施しました。	養成講座の研修と体験を通じて「ボランティア活動」の理念を正しく理解したボランティアの育成ができました。今後は受講者がどのようなボランティア活動に参加しているか等を調査し、養成の効果を確認していく必要があります。	326	325	651	延受講者数	[971]	[960]	目標数値の累計が延受講者数の累計となっていたので修正しました。
			35	②身近な地域での助け合い活動の推進	障がい福祉課	障がい者地域自立支援協議会専門部会において、民生委員等と地域での助け合い活動を推進するための勉強会を開催します。	2	障がい者地域自立支援協議会精神保健部会主催の当事者と民生委員との交流事業の際に、地域での助け合いや見守り等についての周知を行いました。(10/30、3/8)	地域での助け合いや見守り等について周知することができました。	2	2	4	回数	[6]	[6]	

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考	
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標
	1市民の理解と協働の推進	(2)障がいのある人を支援する地域福祉活動の推進	35	②身近な地域での助け合い活動の推進	介護高齢福祉課	医療福祉政策課へ		「市民ふくし大学講座」として、6コースの専門講座と2回の基礎講座を開講し、福祉の専門的な知識を持った「いが見守り支援員」を養成することができました。	住民自治協議会単位での支え合い体制構築を推進し、福祉意識をもった地域住民を育成することができました。今後は、養成された人材が活躍できる支えあいのしくみを構築する必要があります。	30	100	130	人数	[200]	[200]	
						★ 医療福祉政策課【H26新規】	地域福祉の推進母体である社会福祉協議会が、「いが見守り支援員（地域における見守り活動を担う）」を養成するための地域福祉活動に対し、財政支援を行います。	50							人数	50

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況						26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考														
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計	指標																	
2快適で安全なまちづくりの推進	(1)ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	37	①ユニバーサルデザインの普及・啓発の推進	障がい福祉課	障がい者週間の街頭啓発の際に、「思いやり駐車場制度」についての啓発チラシを配布し、市民への周知を図ります。	1,000	12月の障がい者週間の街頭啓発の際に「思いやり駐車場制度」の啓発チラシを配布しユニバーサルデザインの理念の普及を行いました。	「思いやり駐車場制度」の啓発チラシを配布することによりユニバーサルデザインの理念を普及することができました。	1000	1,000	2,000	配布数	[3,000]	[3,000]																
																37	①ユニバーサルデザインの普及・啓発の推進	医療福祉政策課【H26新規追加】	ユニバーサルデザインの理念に基づく事業を担当する職員への研修を行います。	1	/						回数	1	1	
																37	②情報のユニバーサルデザイン化の推進	障がい福祉課	窓口で円滑なコミュニケーションが図れるよう、簡易筆談器を設置するとともに、手話通訳者の配置を行います。	1	窓口に簡易筆談機の設置を行なうとともに、障がい福祉課に手話通訳者を配置しました。	簡易筆談機の設置や手話通訳者の配置により、窓口での円滑なコミュニケーションを図ることができました。	1	1	—	設置手話通訳者数	1	1		
																37	③ユニバーサルデザインの理念に基づいた事業の推進	障がい福祉課	市が主催する講演会や研修会に手話通訳者及び要約筆記奉仕員の派遣を行います。	35	市が主催する講演会や研修会に手話通訳者及び要約筆記奉仕員の派遣を行いました。	講演会等に手話通訳者及び要約筆記奉仕員を派遣することにより、聴覚障がい者等の情報保障ができ、社会参加の増進を図ることができました。今後は手話通訳者や要約筆記奉仕員の人材育成をしていく必要があります。	34	35	69	派遣回数	[104]	[175]	市の開催する講演会等での情報保障の必要性について庁内各部署に周知していくとともに、手話通訳者や要約筆記奉仕員の人材育成にも努めます。	
																														障がい福祉課【H25新規】

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考	
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標
	2快適で安全なまちづくりの推進	(1)ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	37	③ユニバーサルデザインの理念に基づいた事業の推進	広報情報課	わかりやすい広報紙や行政情報番組を作成します。	広報紙 23 行政情報番組52	わかりやすい広報紙や行政情報番組を作成しました。	今後もわかりやすい広報紙や行政情報番組を作成します。	広報紙 23 行政情報番組52	広報紙 23 行政情報番組52	/	回数	広報紙 [69] 行政情報番組 [156]	広報紙 [69] 行政情報番組 [156]	

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの[累計]又は26年度目標値の見込数	26年度までの[累計]又は26年度目標値	備考		
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標	
	2快適で安全なまちづくりの推進	(2)移動に関する支援	38	①持続可能な交通体系の構築	総合政策課	<p>伊賀市交通計画(H23～26)のアクションプログラムに基づき、引き続き各施策に取り組みます。</p> <p>【バス交通施策】 運行の効率化による既存バス路線の維持のため、校区再編計画の実施に合わせた既存バス路線の通学手段としての活用に関する検討・調整等を行います。</p> <p>【鉄道施策】 伊賀鉄道伊賀線、JR関西本線の活性化や利便性向上に向けた利用促進策等に取り組みます。</p> <p>【その他】 過度な自動車利用を控え公共交通の利用を促進するためのモビリティマネジメントの啓発に取り組みます。 また、平成27年度からの新たな交通計画を策定します。</p>		<p>【バス交通施策】平成25年6月3日から、いがまち、阿山、大山田の各行政サービス巡回車において運行ルートの新設及び改廃。同年6月1日廃止代替バス柘植線及び青山行政バスの運行ルートの変更等、伊賀市交通計画に位置づけた施策に基づき実施しました。</p> <p>【鉄道施策】主に伊賀鉄道伊賀線の維持存続や利用促進、JR関西本線の活性化や利用促進のため、伊賀市交通計画に位置づけた各種施策を、鉄道事業者と連携、協力しながら実施しました。</p> <p>【その他】モビリティマネジメントの取り組みでは、市の広報媒体を活用して啓発しました。公共交通利用促進期間(7～9月)を設け、市職員の利用促進を呼びかけました。平成27年度からの新たな交通計画策定に向けた市民意識調査(アンケート)を実施しました。</p>								<p>計画最終年度である平成26年度までの目標値としては、鉄道施策において次のように定めています。</p> <p>①各路線の満足度調査における満足度が不満を上回ること、②中心市街地4駅合計の乗車人員を現況値(H20実績)以上とすること、③市内4路線の定期外乗車人員合計を現況値(H20実績)以上とすること、④観光、レクリエーションを目的とした入込客数を現況値(H21)以上とすること、⑤サポーター組織等の会員数を現況値(H22)以上とすることとしています。</p>	

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考														
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標													
2快適で安全なまちづくりの推進	(2)移動に関する支援	38	②福祉有償運送の充実	介護高齢福祉課	福祉有償運送実施法人が、継続して運行できるよう、引き続き運営に要した経費の一部を助成します。	11	福祉有償運送実施法人に対し、運営に要した経費の一部を助成しました。	市民ニーズの増加に対し、継続して運行できるよう補助制度を見直しました。新制度での運行に対する補助を行うことで、運行事業者が安定した運行を行うことができ、実施法人の拡充にも繋がりました。	2	9	11	登録事業者数	[22]	[11]	H24実績値9は、H23までの実績値8を含む														
																38	③移動支援のためのサービスの充実	★ 障がい福祉課	障がいのある人の社会参加のための移動支援を行います。	100	市内12箇所、市外6箇所の事業所の利用者に移動支援(ガイドヘルプ)サービス給付を行いました。	移動支援サービス給付を行なうことにより障がいのある人の社会参加を促進することができました。	92	91	—	利用者数	100	173	事業所数が十分でないため、利用者数が目標数に達することができませんでした。今後、事業所の確保に努めます。
39	②支援が必要な人の把握と支援体制づくりの推進	総合危機管理課	地域での訓練を通じて支援体制の確立と検証を行います。	2	今年度新たに対象となった災害時要援護者の情報を台帳へ追加し、地域や民生委員等へ災害時要援護者名簿として打ち出し情報提供を行ないました。	名簿を活用し、平常時から地域において要援護者の見守り等支援体制が構築される。ただし、地域により取り組み状況にかなりの格差があります。	1	1	2	回	[4]	[3]																	

目標Ⅲ	基本方針	基本計画	計画ページ	方向性	事業実施課	26年度事業予定	26年度目標値	2013（H25）年度 実施事業の進捗状況					26年度までの [累計]又は26 年度目標値の 見込数	26年度までの [累計]又は26 年度目標値	備考	
								事業の実施内容	事業の効果・課題	25実績	24実績	実績合計				指標
	2快適で安全なまちづくりの推進	(3) 防災、防犯に関する支援	39	③障がい配慮した避難所の確保と避難所での生活支援の推進	障がい福祉課	災害の際に避難所へ配置された職員が障がいの特性に応じた支援ができるように、職員を対象にした障がいに関する研修会を開催します。	150	障がいの特性を理解してもらうため、職員を対象にした障がいに関する研修会を開催しました。 12月9日精神(97名参加) 2月27日知的(67名参加)	研修会を通じて障がい種別による特性について理解を深めてもらうことができました。 今後は市民に対する啓発を行っていく必要があります。	164	199	363	延参加人数	[513]	[400]	
			39	③障がい配慮した避難所の確保と避難所での生活支援の推進	総合危機管理課	1		今年度分を前年度に購入したため今年度は未購入としました。	今年度分を前倒しで前年度に購入できたため、大災害での避難所運営の準備が早期に行えた。	0	50	—	セット数	[50]	[30]	
					★総合危機管理課【H26新規追加】	モデル地区による避難所運営マニュアルを作成します。	1						地区	1	1	